

| No. | ご意見・ご感想 |
|-----|--|
| 1 | コミュニケーションの回数に比例して、信頼感が高まると思うので、継続して、日本各地で開催して欲しい(前回、札幌でのリス・コミに出席した際、農水省の〇〇さんという役人が「札幌会場は出席者が少ない」と発言していた。思いあがった発言で、農水省の感覚がはからずも出ていると思った)。 |
| 2 | ・資料を提示しての説明はよかった。・中間まとめとして出された経過等その通りと思うが本当にすべてがそのようにできるのか疑問が残る。・生後20ヶ月等を正確に捉えるにはどうするのか、また嘘があちこちで出てくるように思えてならない。 |
| 3 | ・進んで牛肉を購入することは年々回でしょうか。サガリ、カルビー道内産・JA内にも20戸の酪農・肉牛・育成牛います。道内牛、日本牛等全てが維持される様、検査、予防、飼養基準明示を。・近くで発症しない様に、そして日本でなくなる様に。・発症責任農家にありましようか。・音響が全く悪くことばがつかないところイライラし通しました。 |
| 4 | 科学的に20カ月令未満は検査で判明しないことは理解しているが、消費者の立場から考えると検査しないことに不安はある。また、米国産牛肉輸入再開のための言い訳けとしか考えられない。 |
| 5 | 行政側、生産者、消費者それぞれの意見が交換されたが何処迄信用して良いかわからない。消費者としては心配である。 |
| 6 | この様な直接意見の交換は大変良い事だと思います。国民の意見に耳をかたむけていく方法を是非続けて欲しい。輸入牛でなければ国内では対応出来ないのか酪農業者が消費対応出来る政策を考えて欲しい。 |
| 7 | ①個人の立場、々で意見がちがい・本当の安全についての声が少なかった。・全頭検査は、どの立場でも、必要なのでは。②これからの子供達の成長にも、ぜひ、安全な食肉をと望みます。 |
| 8 | ①20、21ヶ月齢以下の検出困難であることと「～以下牛の検査」不要論は違うのでは。英国の実験では、20ヶ月以下でも感染しているのでは？②今までの検査結果(3年間)で見直しは早急すぎる(汚染原因究明がほとんどなされていない)。→国民は単に安心を求めているのではなく、食品安全等の科学論議に疑問を持っているのではないか。 |
| 9 | 〇〇課長さん一人だけ長時間ウデを組んでいました。印象悪いです。目もとじてました。治してください。他の人が一生懸命説明しているのに1人だけ変ですヨ。 |
| 10 | 全ての説明、内容が初めから、全頭検査廃止ありきに聞こえた。どんなに上手く説明しても消費者の理解を得ることは難しいだろう。食品安全委員会の使命は何処へ行ったのか。 |
| 11 | 陰性の肉骨粉の肥料としての活用。一焼却は無駄。 |
| 12 | 国民的関心の強いBSEに*もその対策に努力されている事は、わかった様な気がするが…食肉だけにとどめず食品に関わるトレーサビリティを強化する必要がある。せつかくの食品安全のコミュケならばもっとBSEにとどめず遺伝子組換え等についても今後はほしい。 |
| 13 | アメリカと同様の検査をやるべきです。日本は肉の歴史が浅く、科学的データによる検査方法をすべきだと思います。ムダな検査をせず、消費者が納得する説明をしてほしい。 |
| 14 | 20カ月以下のBSE検査が意味がないというのは判ったが、一般的な意見としてはあくまでも全頭検査を求める意見が強い。マスコミもそういう方向で報道しているせいもあるのだろうが、今後上手くマスコミを使う等の対策も必要だろうと思う。 |
| 15 | 輸入をする為の説明にすぎない。国は国民の生命と財産を第1に守れ。これが国の責任である。 |
| 16 | ◎国民の意見を聞きましたという、実績作りだけに終らず、必ず実行してほしい。◎命に関するものは国策(輸入)によって左右されるべきものではない。心してほしい。 |
| 17 | 早期に米国産牛肉の輸入を再開することを強く望む。 |
| 18 | 「全頭検査しているから安全」と言っていたが安心できるとは限らない。資料1の9ページの「この肉は摘発不可能」! |
| 19 | 米国の輸出圧力と別の世界の立場として、しっかり仕事していただきたい。 |
| 20 | 事業者は「リスクはあるのは当然」と放言しているが「リスク」を少しでも少なくするのが国の責任であると思います。消費者は、それほどバカではありませんから、リスクが大きくなれば購入しません。常に善良なる国民の方を向いて政策を推進していただきたいと思います。 |

北見1/1

| No | ご意見・ご感想 |
|----|---|
| 1 | 農水及び厚生でも発生のメカニズム、食品の完全な危険部位の除去等、また未確定の要素がある状況で全頭検査をゆるめるのは時期尚早と思われる。また、輸入飼料で混合飼料原料表示の対応が遅いと思われる。21カ月齢以上検査しない場合、今後検査方法の改良により、20カ月以下でも発生が確認された場合、また混乱するのではないか。 |
| 2 | 意見交換会の時間が短いので、不完全燃焼である！ |
| 3 | 質問等のあった者に文章(FAX)にて解答を下さい。・初めにありきではないか？・国民に選択させるのか？(安心か安全か)・感染源の公表(いつ?)・同じエサを食べていても発生数が少ない。・死亡中の24ヶ月以上検査の必要性。 |
| 4 | 科学的安全の押し売りであり、コミュニケーションになっていない！！ |
| 5 | 今後も全頭検査を強く望みます。 |
| 6 | 安心のために、安全のため、全頭検査をつづけれ。10年くらいはね。3年では早すぎる。 |
| 7 | 資料3P3、発生頭数の図。23ヶ国しか載っていないが、米国をのせるべき(資料元はわざとのせないのでしょうか)。 |
| 8 | 質問する側も、問題点以外にもふれてしまい、幅が広がった中での答弁だったので、とても納得出来ない会議でした。私は書面にて質問しましたが、取り扱ってもらえず残念です。後日、書面にて返答を希望します。意見交換の時間が少なすぎます。 |
| 9 | いくらこのようなリスコミを開催しても、参加者の多くは、マスコミ等の報道による間違った認識を持っている者が多く、客観的事実を認めず、自らの主観的なもので話しをしているので、進展はしないように思われる。 |
| 10 | もっと意見交換時間を長くして欲しい。 |
| 11 | 全て既報の情報で、あまり参加のメリットがなかった。 |
| 12 | 結論が先にありきで、リスコミではなくただの説明会になっている。出された意見については専門調査会で検討と言うが、専門家集団の出した「科学的」結論が、数人の消費者の意思で変わることがあり得るのか。「科学的」結論が既に出ているのなら、おためごかしはやめた方がよい。 |

宇都宮1/2

| No. | ご意見・ご感想 |
|-----|--|
| 1 | 100%安全な食品はない。つまり程度の差はあるにせよ、ゼロではない何らかのリスクが食品には内在している訳であるから、例えば、食中毒による健康危害が発生する確率と比較して、危険部位を摂取した場合のリスク、当該部位を除去した筋肉組織等を摂取した場合のリスクをできる限り数値化して、分かりやすく説明すべきではないか。リスクは、オールorナッシングではないので病気になって発症する確率は限りなくゼロに近く安全であることをアピールすべきです。 |
| 2 | ①日本の検査条件(例えば検査対象月齢等)と米国等からの輸入牛肉の検査条件の格差があるので、今後今回のような意見交換会を設けて欲しい。②Q&Aの方法について、特定の出席の発言が長すぎる。より多くの出席者の意見を汲み上げる司会進行する必要がある。 |
| 3 | 消費者の名をかたる業者の参加を排除してもらいたい。非常に不愉快であった。もっと消費者の意見を聞きたかった。 |
| 4 | 意見の中に全頭検査中止を進言された方があり、国民全体がその様な考えの方ばかりとは考えにくい。安心、安全を守るためにも全頭検査を実施し、国民の安心を実現し安全対策を実現してほしい。 |
| 5 | モニター2期目(半年を1期)で出席。わかりやすく、納得できた。栃木食品安全委員会モニター ○○○○ |
| 6 | 食の安全は科学的に説明できますが、安心は取り組み方、経過などを合わせて見ないと安心はできない。栃木県は生産県ですが、全頭検査を県におろされた場合、最終的な負担が生産者にくるのではないかと不安です。20年前牛肉の自給率は70%だったということです。日本の食糧自給率をあげる良いチャンス。今年は上がったと思う。輸入業者の声が大きすぎた。全頭検査は世界にほこれる素晴らしい制度です。 |
| 7 | 参考資料4のQ&AのQ9に「正確な情報をマスメディアに提供」とありましたが、単に提供だけでは、マスメディア側の判断で、情報すべてが正確に伝わらないことがあり[現実に初発時のマスコミ報道]、これを防ぐために鳥インフルエンザ時に行ったように、新聞への全面紙を使った「国民のみなさまへ」などの直接の情報提供が必要です。 |
| 8 | リスクコミュニケーションは大変必要なことだと思うが不安になってしまった。あの雰囲気の中で意見を言うことができなかったのはとても残念でしたし、くやしかった。 |
| 9 | 10月に札幌で地方食品産業協会全国会議で内閣府委員会次長の話があり国民は「ゼロリスク」を考えるとのことが述べられた。今日の意見交換会においても積極的に一般国民にPRできるようになればと思う。国のPRより「みのもんた」を信じる時代であるから。 |
| 10 | 会場からの意見の際、生産者団体・生協の方は名前・所属を明らかにして意見を述べていたので共感がもてたが、一消費者と言っていた方々は流通業者や外食産業の方ではなかったのか…不信感が高まった。不透明な意見交換は意味がないと思います。 |
| 11 | 栃木県の食品安全安心委員であるので参加しました。生産者の立場を消費者の立場から理解したいと思いました。県民にこのことを理解してもらうのは大変だと思います。 |
| 12 | 飲み物が欲しかった。 |
| 13 | 今回は参加者の意見としてさまざまな意見があり、活発に意見交換ができたことは、参加者としてもとても勉強になり刺激になりました。時間が足りなくてもっと時間が長くあればさまざまな意見ももっとでたと思います。今回は参加させていただきありがとうございました。 |
| 14 | 早く米国との輸入再開を願います。聞く限りでは全頭検査は無駄に思います。安くうまい牛肉(米国)を再開して下さい。 |
| 15 | 危険部位のみ除去すれば安全、理解しにくい。 |
| 16 | スケジュールとしてのリスクコミュニケーションの場として感じた。どうしてもアメリカ産牛肉輸入を前提として見直しをしているとしか思えない。消費者の理解を得るため2年程度の経過措置(全頭検査)を認めるということのように思えない。 |
| 17 | 会場が暑くドリンクの準備をしてほしかった(参加者への)。 |
| 18 | 初めての参加でしたので資料が大変良く助かりました。消費者として、知らない点が多かったので勉強させていただきます。 |

宇都宮2/2

| No. | ご意見・ご感想 |
|-----|---|
| 19 | <p>・準備期間が短すぎて、一般消費者に開催が充分浸透していたとは思えない。・会場が小さくわかりにくい。地方の生活実態等も考えて、駐車場等も含めて会場を検討して欲しい。・BSEの人への感染の確率を、上下の幅の広い数値でも良いからある程度のもを示して欲しい。・その上で日常生活でのさまざまなリスクと比較できればもっと安心できると思う。・BSE検査の検出限界と、人への感染力を持つ異常プリオンの量はどちらが大きいのか。感染力のある程度の定量化を望む。</p> |
| 20 | <p>問題の性格上、仕方がないと思われるが、専門用語が多く一般人には難しいと思われた。専門用語はわかりやすく言いかえる必要あり。・一部の団体の人の威圧的な意見で会がリードされ一般消費者の素朴な疑問や意見が出しにくい雰囲気であった。</p> |
| 21 | <p>SRMの部分を取り除けばいいのであれば海外の牛も同様のことをすればいいのではないのでしょうか。いつまでも海外から入ってこなければ牛肉の値段が上がってしまって普通に食べられなくなってしまう。</p> |
| 22 | <p>全頭パニックについての説明のようでしたね。まだまだ不安。月齢の確認をしっかりとて欲しい。生産者の話を聞かれたことが良かった。</p> |
| 23 | <p>このようなリスクコミュニケーションの場はすごくいい機会だと思います。マスコミ(新聞)の情報だけでなく、直接安全委員会の方や行政の方のお話が聞けたのはよかったです。ちょっと重複した資料が多すぎる。</p> |
| 24 | <p>・食品安全委員会と厚生労働省、農林水産省の講演内容がほとんど同じ内容として聞こえた。それぞれの立場を明確にした内容で講演していただき良かった。・全国民に対する周知徹底方法の検討も必要かと思われる。</p> |
| 25 | <p>やこぶ病は摂取してどの位経つと発症するのでしょうか。牛同士BSEの感染はどんな形で感染するのでしょうか。不安なものが一杯あります。国内産でもこれだけ考えられるので、まして輸入品は如何かと。成長期にある子供には「安全」な食肉を与えたいと思います。</p> |
| 26 | <p>もう少しゆっくりと説明して欲しかった。少し長めに時間を取って、間に休憩を入れた方が良いのでは？</p> |
| 27 | <p>20ヶ月齢以下の牛を検査対象外とすることについては反対ではない。現行では、むしろ交差汚染の防止に力を注ぐべきであると思う。</p> |
| 28 | <p>具体的な例をもっと多く取り入れた説明が欲しい。</p> |

福岡1/1

| No. | ご意見・ご感想 |
|-----|--|
| 1 | 取り組みは理解できた。 |
| 2 | リスクは、あるが、そのリスクは小さいことを強調して、ハッキリ説明して欲しい。 |
| 3 | ・この場に出席されている方よりも、されていない方、興味のない方はマスコミ報道のみでしか判断するしかないと思う。マスコミ対策も必要では。 |
| 4 | 参加者同士の意見交換の場を設けて欲しかったです。 |
| 5 | 参加について前回は新聞を見て申し込んだが、新聞には電話しか記載されていないのにFAXで申込をせよとのこと不親切。新聞掲載からの開催までの期間が短い、参加者を少なくしたいのか。〇〇〇〇〇〇さんの問題との関連を疑っています。 |
| 6 | EUのBSEのリスク評価で、日本は「発生するおそれがある」という通知を受けているが、当時の農水省はそれに対する対策をすぐに取りなかったのが、BSE問題のスタートである。これに対する説明も、反省もなかった(農水省の説明)。 |
| 7 | 時間・時間と言う中で進めていて、本当に意見交換をする気があるのか。0リスクは無い。安全の基準の明確化と消費者の意志(食べたい)を尊重すべき。 |
| 8 | 100%安全な食品はないと言いながら、BSEに関しては安全ですという言い方はない。リスクコミュニケーションではない。 |
| 9 | 米国からの輸入再開がまず最初にありきを、どの様に国民に納得させるかのために意見を取りまとめても、生産者は納得できないと思う。 |
| 10 | 参加証のハガキが来るのが、遅かった。直前の土曜日に来たので。 |
| 11 | もう少し時間を取っていただきたい。 |
| 12 | 対米国産の相互輸入において、我が国の基準を整備等と、我が国ありきに対して、その他の基準対比においては、OIEの基準が等と説明している。かなりの矛盾を感じる。アメリカの圧力に負けて等全く関係なく、科学的な対策も明示されているのであれば、議論の軸が違うのではないかと思います。 |
| 13 | 意見交換の時間が短いのでは？ |
| 14 | リスクコミュニケーションを行ったからといって、理解が得られたなどと報道されていることは納得がいきません。 |
| 15 | 米国産牛の輸入再開の問題に強い感心がある。我国と同等の安全性が保障されれば再開する、との事。新聞等では早期再開かと報じられているが、今回の意見交換会で、まだしばらく再開までは時間がかかるとの説明に少なからず安心した。 |
| 16 | ゼロリスクでは無い以上、極力リスク低下して、後は消費者の判断となるのではないのでしょうか。SRMの完全除去にて足りると思います。 |
| 17 | 全頭検査にあまり意味が無い事が分かりました。それに税金が使われている不合理。SRM除去の徹底にて、リスクが除かれるのであれば、その点を強化し国民に説明すべきで、無駄な税金使用は即、中止すべき。 |
| 18 | 今後ともコミュニケーションの機会を多く、又時間を長く取って下さい。 |
| 19 | 食品に関するリスクコミュニケーションの方向性は大切にしたいと考えます。この間、リスク管理につきましては評価しています。しかし、リスク分析の裏付けが明確になる努力が必要と考えています。化学的な裏付けを明確に国民に対して示す必要があります。今回は時間(意見交換会)が短いと感じました。 |
| 20 | 今日の直接的なリスクコミュニケーションの場は関連の人達が多いが、その中で疑問の声が多く出されると、消費者としては不安が高まって時間のないままでは消化不良です。今後の対応を望みます(米国産牛についても)。 |
| 21 | アメリカに限らず、輸入牛に関して、きちんとした情報を消費者に伝える努力をして欲しい。食品について、0リスクはありえない事は理解しておりますが、検査は全頭やるべきと思っています。 |
| 22 | 中間取りまとめ以後のリスコミの場の提供には感謝しています。アメリカの事と、今回の事とは別々の論議で考えるべきだと思います。ただ消費者としては気になる所です。アメリカが日本と同等の安全性が担保できた時のリスコミの場の今後の設定を希望します。全頭検査の必要はないと思います。 |
| 23 | いくら良い仕組みを作られても実行できない事もあります。費用、物理的面などから、結局生産者にしわ寄せがくるとの意見も前回にもありました。補助など対策は考えられていますか。飼料工場分離。検査。 |

佐賀1/1

| No | ご意見・ご感想 |
|----|--|
| 1 | 国民の安心を得られる対策とすべき。20ヶ月以下を対象からはずすのを承認させる会議のように感じた。今回の会議を通して対応を再検討して欲しい。 |
| 2 | 検査月齢21ヶ月以上を肯定するためだけの資料であった。国内の個体識別事業の意義が不明確になる。 |
| 3 | 消費者は安全で安心な食を望んでいます。国の政策、生産者のおもいがちょっとづれているように感じました。これしかないという方法ならば、もっと理解出来るように何度も話し合いを持ってほしい。 |
| 4 | リスクコミュニケーションと言うより、説明会のような感じを受けた。今後、出された意見がどのように受け入れられていくのか見守りたいという思いもあるが、回答を聴くうえで、意見は受け入れられないように感じられた。このため、意見交換会に参加して、より不安感が高まった気がする。なぜなら、「なぜ、今、全頭検査をやめるのか」という回答が明確ではないから」財政的なもの外圧が等々、勘ぐってしまうのは避けられないのではないか。 |
| 5 | ・全頭検査で23ヶ月、21ヶ月令で発見された。20ヶ月以下はしなくなったら発見される可能性自体なくなる。・20ヶ月以下は発見が困難との表現で安全という言葉はない。・米国产輸入目的の感じを受ける。月令確認・飼料管理の確認を強化した対策をとってほしい。日本と同じレベルでの輸入とすべき。・消費に影響した場合、国の責任をどうするか。 |
| 6 | 輸入再開に際しては、我国の主張(国民の声)を十分に反映出来るように、米国には強く望んでほしい。 |
| 7 | 熱心な説明だったと思います。 |
| 8 | 消費者や、流通業者の参加が少ない様に思う。もっと、いろんな立場の者の意見が聞ければ良かったが…。 |
| 9 | 現状のBSE対策は、安全と安心が確立しているが、なぜ今、安心が確立していない米国輸入を対象として、話を進めているのがわからない。国民に説明不足、もし国が輸入する方向で進んでいるなら、県が全頭、検査するのに2年間も補助するのか。補助の必要はないのでは。輸入する為の説明不足。 |
| 10 | 重要視される部分が口頭説明で流す説明であり、文書に記載されていないと感じた。 |
| 11 | 場所が分かりづらかった。説明が早くて考えるひまがなかった。開始時間をもう少し早くしてほしい(参加者は佐賀市内ばかりではないので)。全頭検査がなくなると、本当に安全なのか不安です。ヤコブ病も本当に日本では発病していないのか(週刊誌にも前に載っていたので)信用できないと思う。国産牛を食べていますが安心して食べられるようにしてほしい。 |
| 12 | 1. SRMをキチンと実施することが重要。2. BSE検査の全頭検査は期限を切って、一定の時期に改めるべき(中止)。→20月令以下除く等。SRMを確実に実施することで足りるのではないか？ |
| 13 | ・正当化するだけの弁解にしか聞こえなかった。・時期尚早と考える。 |
| 14 | 同じリスクコミュニケーションをして、有すましにしてないか？時間かせぎでやってないか。消費者の方に立って考えてほしいです！！ |
| 15 | テレビ、マスコミ関係による議論を実施してもらいたい。 |
| 16 | 十分な意見交換ができなかった感じがしました。 |
| 17 | 参加者を見ると、生産団体、行政機関が多いと見受けられたし、意見も生産者よりの意見が多かった。リスコミの開催についてはもっと消費者団体にも知らせるべきで、リスコミの参加応募方法が悪かったと思われる。 |
| 18 | ・意見交換会への参加募集方法に問題がある(行政と一部の業者(業種)がほとんどで、消費者や小売業者がほとんどいない)。・時間が短い(意見交換)。・一般の人と専門知識がある人を分けるべき。 |
| 19 | ・20ヶ月令以下の検査はしなくてもOKという説明会としか思えない。・全頭検査し、技術UP精度を上げる研究をすべき。議論が消化不良。 |
| 20 | やはり、米国からの輸入ありきという気がします(どんなに違うといわれても…)。 |
| 21 | 消費者にとって安心、安全という言葉がどれだけ大きく左右されるかを、実感してほしいと思う。 |
| 22 | 説明を聞いた時は安心だと理解していたが、意見交換を聞き不安を感じてきた。やはり、アメリカの輸入については安心できない。日本と同等の安全性と言っても、言葉だけのように感じる。 |

| No. | ご意見・ご感想 |
|-----|---|
| 1 | ・司会進行者の勉強不足で、(早口)聞きづらい。・生産者と行政との間、キヨリが開いている。 |
| 2 | 国の施策について生産者はどれだけ守られているのか、消費者としていつも不安を感じていますが、今回の意見交換会で生産者が食品、安全、安心に対する関心が高い事が理解できて良かった。 |
| 3 | 国内のBSEに関する情報はある程度関心があつて勉強しましたが、今回の講演はかなりくわしい内容まで勉強出来、参加してよかったと思います。輸入肉にはあまり信用出来ないの、消費者としては、無理して輸入しなくても国内産のいい肉を安くする様に努力してほしい。 |
| 4 | ポストハーベスト等の問題を充分把握されていれば、輸入に対する安全基準は日本にはないと思えるはずである。回答者の無知識を感じた。 |
| 5 | 意見交換の時間が短かすぎます。 |
| 6 | 外国からの牛肉の輸入条件として国内と同等の体制が担保出来る時、可能としているが、輸入再開が前提にありきで、国内の基準を変更している様にしか見えない！！ |
| 7 | 日本政府。国民の安心、安全を守るべし。→最高の制度で守るべし。←機能徹底するまで。・消費の理解されるまで。 |
| 8 | ・検査の見直しは必要だと思います。・肥料が規制されてる事がわかりました。・トレーサビリティに関して食肉処理方法について。 |
| 9 | ・問題がおきた時だけ考えるのではなくて何年何十年も同じ問題を考えて行くべきだと思います。・外国に対してもはっきりした態度を取っているのはいいと思います。民、官が同じ立場(国民の事を考え)で、つながりをもっと強化して行くべきだと思います。食品に対しての0リスクを目指して頂きたい(〇〇先生のおっしゃった事)。 |
| 10 | BSEについては飼料の肉骨粉の禁止や、全頭検査の実施により、あまり神経質になることもないと考えていますが、BSE発生は、消費者にとって重要な問題であり、私共の力では安全確認の方法は困難です。そこでまずは生産者等の意識改革が完全出来るまで、いましばらくの間全頭検査を継続していただきたいと思ひます。又、その間行政でも使命感をもって、消費者に対して、正確且つ早急な情報の発信をお願いしたい。そして、消費者側も正しい知識を身につけて安全で質の高い牛肉が流通するようになればとの希望を持っています。 |
| 11 | お弁当を出して欲しかったです。 |
| 12 | トレサビリティにおいて、安全が確保されたのち、また逆行するおそれがあるのではないか。 |
| 13 | 現在のスクリーニング(ELISA)の感度は50%程度であると聞いていますが、この件を明確に公表し、SRMの除去の重要性をもっと強調すべきであると思ひます。全頭検査神話に終止符をうつべき。 |
| 14 | 聞きかじりや交錯する情報の中で、ボンヤリとした知識だったのが、すごくクリアになったような気がする。とりわけ現場でしかわからない実態などもパワーポイントでの説明がよくわかりました。はっきりした上で、更に不安や疑問が湧いてくると思ひるので、更に詳しい情報を得ながら、理解を深めたいと思ひます。 |
| 15 | 意見交換前に回収された意見・質問票を基に、まとめられていない段階で、司会の方が「こんな質問がでてます」とダラダラ言うのは時間の無駄であったと思ひます。また、時間の都合上、急いでいたのはわかるが、回答が早口でききとりにくい。意見交換といつても全体的に不完全燃焼ではなかったのか。 |
| 16 | 輸入牛肉ありきの時期で。—素直な気持ちで聞けない。←いい話なのに。・各機関、ガンバッテいるのに。 |
| 17 | 私は、何の団体にも入らない—消費者です。英国での発生が大多数です。それは、どんな料理をよく食べたからでしょうか？日本との食生活との違いとか、どれ位食べたら危険かとか、もっと具体的に説明されたらよいと思ひます。数字や文章ではなく、高齢者にも理解されるような資料を作られるべきです。 |
| 18 | 若年牛はBSEにかかりにくいとはいえ、全頭検査は必要だと思ひます。消費者の立場になって、これからも安心、安全を提供してほしい。輸入再開の為にこちらが規制緩和しているような(していこうとしているような)不信感はいくらでも、正直なところでは、輸入先に逆に全頭検査を納得してもらおう(える)ような気持ち(態度)を持ち続けてほしい。 |
| 19 | 20ヶ月令以下の検査を除外する事は、国内消費者がようやく安心して牛肉を食べられる体制になったにもかかわらず、米国からの輸入の前提とも思われる検査の除外は、消費者の安全を無視したやり方であると思われる。輸入についても全頭検査を義務付ける必要がある。 |
| 20 | こういう意見交換会には初めて参加させていただきました。BSEのことは知っていましたが、奥が深く理解がむずかしい。私の勉強不足、理解度不足、痛切に感じました。消費者として安心して食生活が出来ます様、今後皆様のご活躍期待致します。今回参加させていただきありがとうございます。 |

長崎2/3

| No. | ご意見・ご感想 |
|-----|---|
| 21 | 予備知識はないまま参加していた事と反省しています。私達主婦は安全、安心して食べられる食材を、提供していただきたいと常々思っております。 |
| 22 | 消費者が安心出来るよう今後も現地での説明会を開催してほしい。リスク評価についてはわかりやすい例を挙げて説明してほしい。 |
| 23 | 生産者はまじめです。ふりまわさないように。 |
| 24 | なぜ、BSE問題についてだけ全国レベルの意見交換会(リスクコミュニケーション)が開催されるのか。国は消費者、生産者等の一部の意見を聞き、今後、生じる可能性があるリスクに対して責任回避をしている様に思われる。 |
| 25 | ・本日の意見交換会の目的そのものが、全頭検査から21月齢からの検査に移行する為の公開、言いわけ会の趣が強く感じられました。これまで通りの全頭検査を望みます。・外国の事例ばかりでした。日本としての取りくみを望みます。・進行の方の言葉が聞きとりにくかった。ヘラヘラ笑いながらの進行は失礼。 |
| 26 | 説明の方が早口で、聞きとり難いところがあった。進行についても同様。 |
| 27 | 質問は事前に求め(当日ではなくて)、メモで整理し参加者も分かるようにしてもらえば、意見交換のところは判りやすかったと思う。 |
| 28 | 日本国内は完璧(問題は米国からの輸入牛肉。全頭検査ありき)。→全頭検査をしているので、汚染国であっても輸出できないのか?→中国。※汚染に骨粉の輸入をさせた農水省の責任はどうするか。 |
| 29 | 第1に行政と国民が同じ土俵で話をしていないのではないかと。安全と安心が混同している。国民は両方を望んでいる。 |
| 30 | 意見交換を聴いて、結局国や自治体に信頼があるかどうかの問題なのだと思います。私は、全頭検査の必要はないと思っていますが、これからもこのようなリスクミの場を広く提供してもらい、理解を求めていくのは重要だと思います。頑張ってください。 |
| 31 | 食品の安全・安心を今後共よろしく願い致します。BSE対策日夜努力戴き有難う御座居ます。検査技術の研究開発に力を入れてもらって発見を早くして消費者を守ってもらう様、希望致します。 |
| 32 | ・消費者に安心して買い物が出来るように食品安全委員の皆さんにお願いしたいと思います。 |
| 33 | 質問の時間をもっととってほしかった。 |
| 34 | 時間の都合もあつてか、皆さん割と早口で専門用語も多く、わかりにくいところがあった。 |
| 35 | 質問者より回答者のほうが長時間話をしすぎている。手短な回答を。一般の消費者の参加を。利益関係者が多すぎる。このリスクコミュニケーションを行った意図がハッキリしないが。司会者の進行が悪い。 |
| 36 | 生産者の小売の方にはよい勉強だったと思う。私達主婦にとってはテレビ等の中ではよく耳にしますが、今日のは少しむずかしかつたけど勉強にはなりました。少しは安全で食されるのでしょうか…? |
| 37 | 国内産の食肉の安全性は様々な制度で信頼が高まったが、外国の発生国の輸入制度が今後どの様になるのかが不安である。特に米国の様なずさんな体制を行っている国から輸入が再開された場合、これまで日本が行って来た取り組みが崩れてしまうと思うので米国の圧力に負けない様にしてほしい。国内の体制もこれ以上、甘くしてほしくない! |
| 38 | 安全と安心を混同しないような取り組みを期待します。全頭検査することが安全であるという誤解をとくことが必要と思います。 |
| 39 | アメリカ牛肉についてもっと詳しく知りたかった。 |
| 40 | 今後も全頭検査に向け取り組んでほしい。 |
| 41 | 限られた時間ということもあり、講演内容も早口で仕方ない部分もあったと思いますが、もう少しゆっくりじっくり進行できるようにすべきだと思います。また、資料はスライドそのままをのせるだけでなく、口頭で足りない部分、詳しい説明を補うものとして作成する方が良いのではないのでしょうか?このような意見交換会についての情報を、もっと広く公開した方がよいと思います。たぶん、一般の人はほとんど知らないと思います。専門家や業者、農家の方が中心では意味がないと思います。 |
| 42 | 安全性の確認、保証の担保可能な量の輸入量を輸入すべし。 |
| 43 | 21ヶ月で発生しているから20ヶ月に基準を求めたことは短絡的。日本で21、24ヶ月の発生が確認されたが、外国にそこまで幼少の牛に発生がないのはそもそも検査法が違うし、精度も(日本に対し)劣ることは考えられないか。飼料、危険部位除去は安全的手法、BSE検査は安心のためにその精度が確定でない限り全頭すべきである。 |

長崎3/3

| No. | ご意見・ご感想 |
|-----|--|
| 44 | 若齢牛の21ヶ月に対する扱いは消費者に対する理解を十分に行き渡った後に実施すべき、生産者に負担が出ない様に(乳用種肥育)。 |
| 45 | 関係者各位のご尽力に敬意を表します。 |
| 46 | 国民の食の安心、安全をとともまかせられないと感じた。もっとシビアに農家や業界を指導すべきであり、国家間の問題についても日本国民の立場に立って対応していただきたいと願います。 |

熊本1/1

| No | ご意見・ご感想 |
|----|--|
| 1 | こういう問題に関心がない人、十分な理解なしに過剰に反応する人、そういった人がほとんどではないかと思う。こういったリスクだけでは不十分。一般の人には専門用語が多くわかりにくいと思う。講演の人が、しゃべりすぎる。説明の回答だけにしてもらいたい。 |
| 2 | まだまだ安全に対して対策等が必要と思う。 |
| 3 | 国産については牛肉は安心してよいと思ったが外国産、特にアメリカ産については非常に不安が増した。講演者の答もアメリカの輸入を前提にしている、それを推進する為のものに感じた。今後は表示を正確にするように業者を指導してほしい。 |
| 4 | 国内のBSE対策は十分に理解できる。同様な対策を米国に実施させられるか否かが問題。米国輸入解禁は安心、安全の面で、不備すぎる。 |
| 5 | 日本で「フグ」を食します。肝は毒で完全除去した上で美味しく食べられています。肉も同じ対処であるSRMを完全除去し、安くて美味しい米国产牛肉を食べたいと思います。一日も早い輸入再開を望みます。 |
| 6 | 一方的で意見交換になっていないのでは？講演(内容)の目的がわからない。講演をなくして、全部意見交換会にしては？ |
| 7 | ・熊本地域(20才~60才は約116名)の消費者にアンケートをとったところ68%が全頭検査を望む。20ヶ月齢以下は対象外でよいという方が8%と左例的に全頭検査が支持されている結果となりました。不安を解消するには全頭検査をお願いしたい(10/23、朝日新聞でも全頭検査を望む人が68%であったと思います)。・感染原因が究明できていない事に不安を感じます。 |
| 8 | もっと国民の立場にたってしてほしい。 |
| 9 | 意見交換時の応答で、ある程度はわかりましたが、回答が一部論点がはずれた回答になっていた気がしました。 |
| 10 | 時間に限りがある為でしょうか、早口で説明があり、聞き取りにくい点もあり、説明時間をもっと余裕を持ってお願いしたい。 |
| 11 | 参加できて良かった。アメリカの牛肉は心配していたが、これからの話し合いと聞き、お互いにとって良い形でできればなあと思う。 |
| 12 | 参加することが出来てとても勉強になりました。お話を聞き安心することができましたが今まで通りの検査をしてほしいと思いました。 |